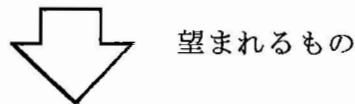


食シーン 1 朝食

メインターゲット 一人暮らし学生・社会人

- 優子は、人材派遣会社に勤める29才。親元を離れての一人暮らし3年目である。人当たりの良さが評価され係長に抜擢されたのはよいが、日中は対外的な接渉や部下とのコミュニケーションに追われ、定時退社もままならない。残業食をとるとそれだけ帰宅時間が遅くなるので、夕食は自宅で食べるようにしている。料理はどちらかといえば得意な方。親は何かといえば「いい人いないの?」と言っていたが最近ではあきらめたのか、そんな話もでなくなってしまった。当人としてはあきらめたつもりはないのに — ! (社内にも大台に乗ったシングル女性はワザがいるのだ、まだまだ若い方よっ)
- 帰宅途中では、必ずCVSに寄っている。CVSに入ると“ぼっ”と一息つける感覚がある。男の人が居酒屋で一杯ひっかけた会社から自宅に帰るまでに気分転換をはかる…そんな気持ちに似ているかもしれない。今では翌朝のパンや牛乳を買うのが日課になってしまった。夕食をどうしようかな? と思いながら駅に着くとドドッと疲労感がおしよせてくる。そんな時は夕食もCVSに依存してしまう。
- ハッと気がつくとも1日2食もCVSに依存している。自分としては、やはり食生活を妥協している感じがしてあまり好ましくないし、何よりも栄養バランスが心配。こんなにモロが溢れているのにどうして不足感のある生活をしなくちゃならないの? …と思うのだが、同じような生活の人も意外と多いのでは?

優子さんのニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事帰りにどこかにふらっと寄りたい(CVSに行く背景) ・ 栄養バランスの良い食事をとりたい。 ・ 疲れて帰ってきた時、料理なんかしなくてもわびしくない、あったかいものが食べたい。
優子さんと同じようなニーズをもつターゲットの広がり	<ul style="list-style-type: none"> ◆ すべての一人暮らし男女 ◆ 仕事中心の生活で自炊がままならない人 ◆ 料理をつくりたくない人(時) ◆ 単身赴任のお父さん



健康を気づかうシングル層(一人暮らし)にとって、食事は活力の源である。1日2食~3食外食で過ごす人達も年々増えている。多忙な働き盛り世代のための栄養バランスを考えた食の提供が求められている。

IdeaのKEY WORD	栄養バランスがよい/夜に翌日の朝食を購入する/洗いものがない(容器付)/あたたかい食事
---------------	---

[Idea例]

- ① ミニカレーライス ② 中華粥 ③ 栄養バランス凍菜 ④ ホットサラダ ⑤ ホットトーストシート

ベネフィット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養バランスがよい ・ Menuの組み合わせを考えなくてよい ・ 手づくり感が味わえる ・ ホテルのモーニングサービスのようで、気持ちがよい
--------	---